

皆生温泉活性化検討レジメ

大國道夫

目指すべき将来像

緑あふれる海辺の総合リゾート都市・皆生温泉

松林や樹林・庭園では小鳥がさえずり、リスが走っている。

美保湾に広がる弓ヶ浜からは大山がのぞめ、潮風と太陽は自然の雄大さを楽しませてくれる。

海の幸、山の幸に恵まれた温泉地は明治以来の開拓者魂が受け継がれている。今と昔が混在したミステリアスな温泉地。



生活と医療、リゾートが共存した都市をめざす。

マスタープラン

1、ロケーション

美保湾と大山を望む弓ヶ浜を活かし、松林などの樹林に覆われたと庭園型温泉地とする。

2、都市計画

折下吉延による都市計画の骨格を継承する。

3、緑化

公園に加え中心部の緑化、温泉施設の緑化を強化する計画とする。

4、ゾーニング

温泉リゾートゾーン、医療保養ゾーン、生活都市ゾーンの共生する都市とする。

5、センター計画

ツーリズムセンター、健康医療センター、道の駅などリゾート、医療保養、生活の各ゾーンの中心となる集客、サポート施設を整備する。

6、回遊路

海辺のボードウォーク、観光スポットを結ぶまちなか回遊路を整備し、それぞれがお気に入りの場所を楽しめる計画とする。

7、軸

温泉街を形成する。

8、景観

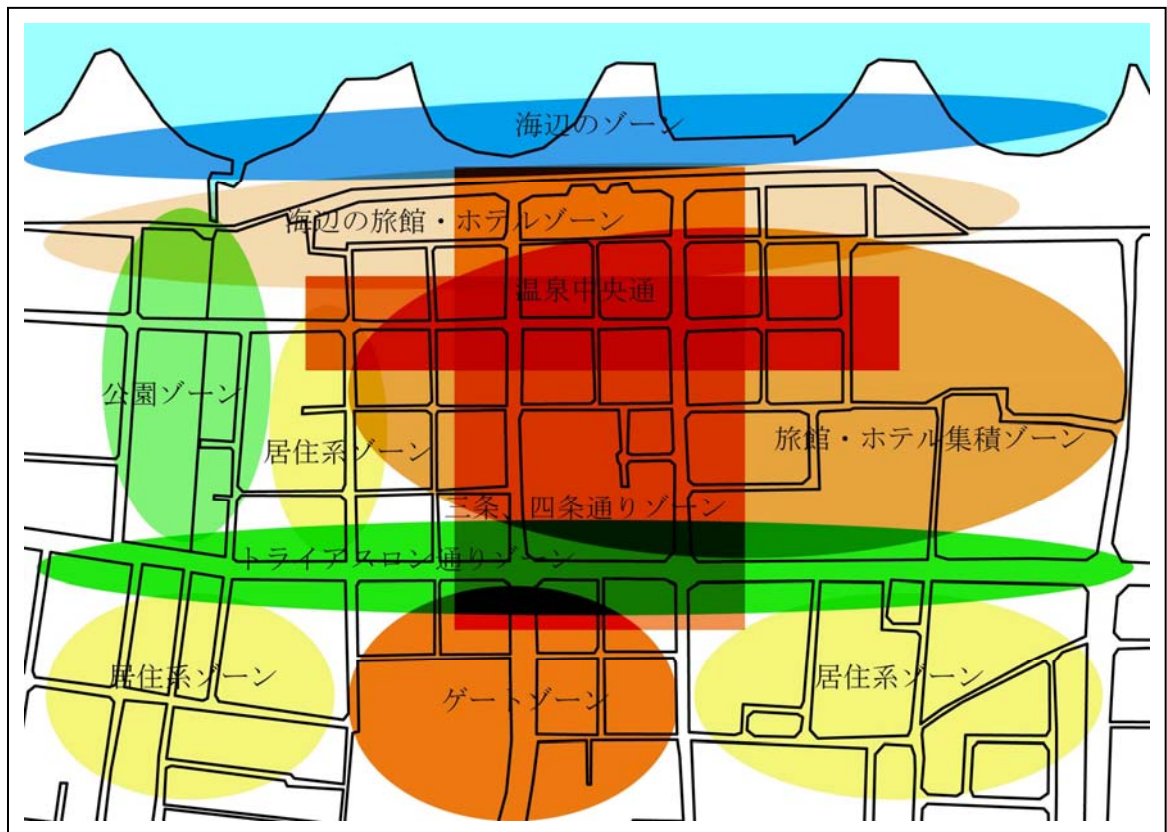
伝統にとらわれずに、未来志向の建物計画、景観計画とする。

9、風景

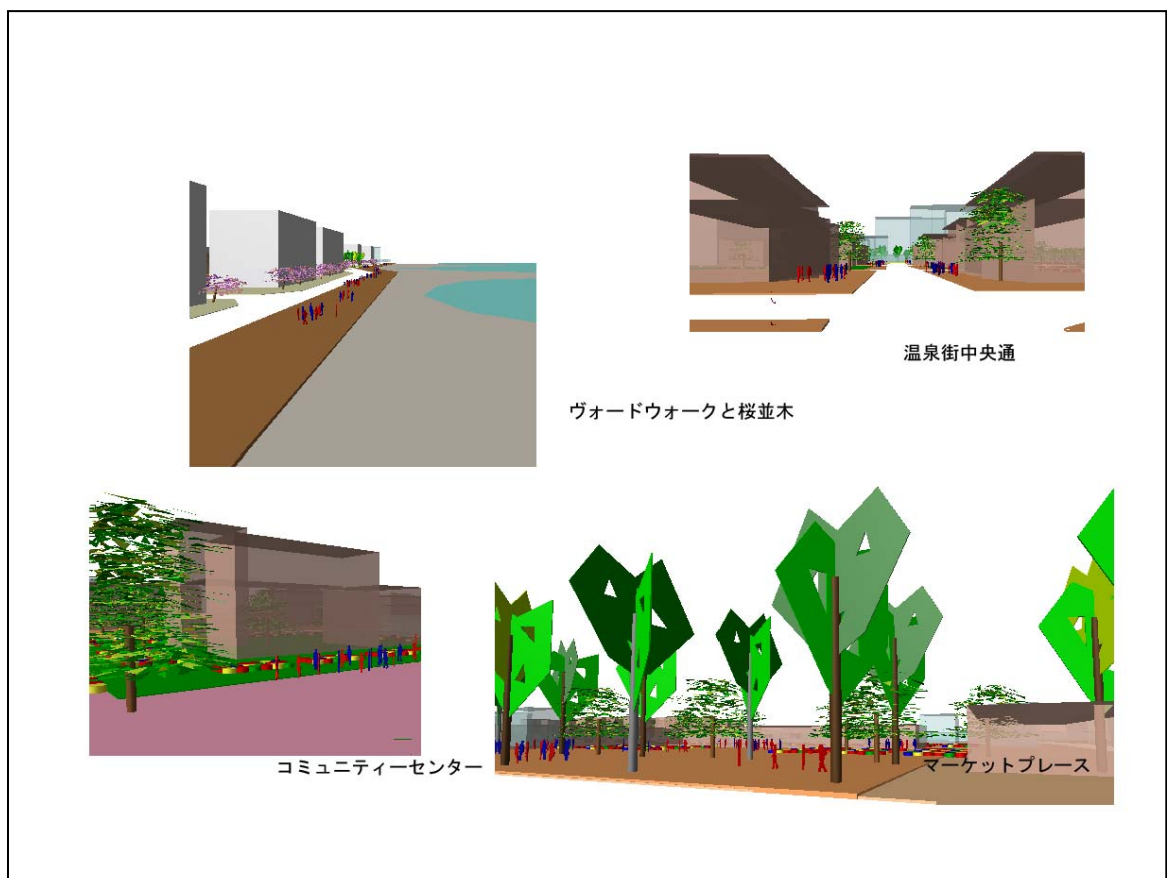
周辺の街並と区別する非日常的雰囲気をかもし出す風景計画とする。

10、交通アクセス

米子市中心部からの交通アクセスを重視した計画とする。

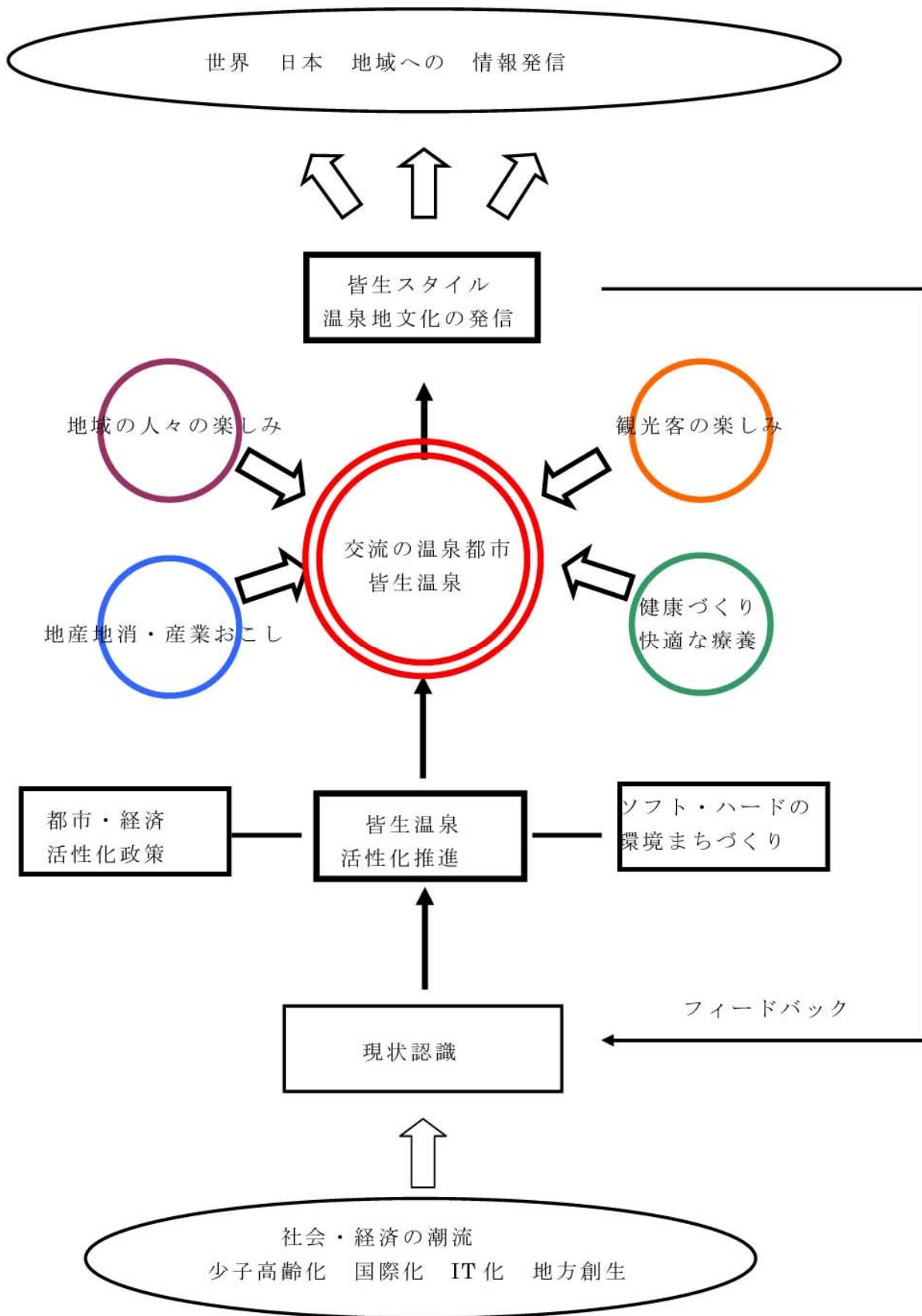


ゾーニングイメージ



街並 回遊路イメージ

公民協調まちづくり推進方策イメージ



今後の課題

1、数値目標の設定

2、プロジェクト化と予算

3、プロジェクトスケジュール

4、推進組織の形成

5、集客方法の具体化

6、国の施策等との整合性

7、その他